



有松まちづくりの会役員会 (10月27日)

10月15日に来訪された金沢からの視察団との意見交換会で、観光に対する心構えや防災対策の必要性を学んだとの報告がありました。25日に実施された緑区区民まつりでは、パネル展示や絞り体験キットの販売を実施し、日本遺産有松のPRをしたとのこと。

また最近、有松を訪れる外国人が増えてきたので、早急に外国語表記の案内を設置する働きかけをしていくこととしました。

まちの風景: いけばな



井桁屋↑↓竹田嘉兵衛商店



第17回 いけばなスペース花展 (10月4日・5日)

有松の町並みといけばなの調和の美しさをアピールし、有松の文化的発展に寄与することを目的としている生け花展覧会が今年も行われた。

会場は旧東海道沿いと竹田嘉兵衛商店内。合作オブジェや個人作品が所狭しと並んでいた。(右写真参照)

いけばなスペースは、「誰にも開かれたいけばな」を理念に流派を超えた会員で、有松開村400年祭(2008年)に発足した。

局長さん達ありがとう: 一里塚の清掃 (9月27日)

名古屋市南部地区郵便局長会の若手の皆さん12名が地域貢献活動として、一里塚と西町臨時駐車場の草刈り清掃に汗を流して下さいました。酷暑の今夏、中々清掃活動に取り組めず、草は伸び放題。草を刈る役、集める役と手際よく作業して下さい、1時間ほどでゴミ袋約20個、すっきりきれいになりました。これで気持ちよくお祭りが迎えられと、一緒に参加したまちづくりの会やあないびとの会のメンバーも感謝しきりでした。



金沢から視察団来訪 (10月15日)

重伝建の選定も日本遺産の認定も大先輩の「金沢東山・ひがしの町並みと文化を守る会」の皆さん25名が、有松にお出かけくださいました。

まずは3班に分かれて有松あないびとの会の案内で町並みを散策。途中岡家住宅にも入られ、絞り商の



敷地の広さに驚いておられました。町並みの修景や空き家についてなど町並み保存に取り組んでいらっしゃる地域ならではの質問も多くありました。その後、絞会館でまちづくりの会・あないびとの会のメンバーと意見交換会を持ち、会の存続や運営・新規会員の募集など町並み保存活動を発展・将来にわたって継続するための方策について意見を出し合いました。北陸新幹線開業後、オーバーツーリズム気味とのこと。どのようなお客様に来ていただきたいか等、町全体でよく考えることが大切とのアドバイスをいただきました。

▶ お囃子の稽古風景 in 東町 (9月28日) 於:有松山車会館

1階和室には、ピリッと張りつめた空気が漂っていた。稽古期間の4日目、20人程の囃子方・人形方が練習に励んでいた。山車関係者や激励挨拶に来た文嶺講総代長らが見守っている。

子どもは小太鼓から稽古。現在小学生が3人、確実に引き継がれているようだ。4年の立川翔輝君は「お祭りを見てやりたいと、昨年から。稽古中の4曲を聞き分けて欲しい」保護者は「正座や練習後のお茶配りなど家庭ではしないことを体験させていただける」と感謝の声。

囃子方の音色に合わせて人形方も稽古に集中。向かいの布袋車では、縄の締め直しが…「皆にやり方を覚えてもらうため毎年行っている」との事。



未来を背負う小学生三人組



縄の締め直し作業

▶ 前夜祭 (10月4日)

梵天立て in 西町 小雨の中8時頃出発し、細根山へ梵天用のマダケを刈りに行く(料亭"今"の北西)。手頃な長さに切り出し、先端部だけ枝葉を残して年行司に立てる。西町は11m(東町12m,中町13m)。補助綱で直立すると根元の外側に稲わらをかぶせて化粧する。やり方と仕上がりは町により異なる。西町では2段に作る。上段は穂を内側にして茎を出し、下段は穂を下に向くように。最後に縄を、上から7,5,3回巻く。これは各町共通。



西町 ↑ →



中町 ↑
東町 →



囃子込み in 中町 夕方18時過ぎに年行司を出発。太鼓や笛などの音色と共に、子ども連れの参加も多く賑やか。笹提灯が夜の町を更に彩る。お囃子が廻ってくることで、まつり前夜の気分を盛り上げている。でも今年は、本番が曇/雨模様の予報であり、今一つの雰囲気のようにです。

囃子込みが始まったのは4半世紀前。一体感の醸成の為という。廻る途中でご祝儀をいただくことも少なくない(写真左下)。それぞれの町内の収入になるので、囃子込みに一層力が入るようだ。天王坂辺りを廻った後、緑花台や東丘小学校区までおよそ2時間半かけて行くとのこと。

なお、笹竹は長さ2m程、豊明市の境川で切るとのこと。

梵天迎え in 文嶺講

午後7時から西村明敏総代長はじめ副総代長・梵天係等8名が、持参した梵天を拝殿に差し入れ、先端の杉の葉を御幣に取り替えた。今年は梵天係に一般応募者が加わり、新しい形での実施であった。



▶ 本祭 (10月5日)

降雨が予想され山車の運行は中止。神事のみ実施。午後1時、梵天を先頭に一里塚で左回りで3回廻り松原の秋葉社に向かう。そこでも3回廻り天満社へ。参道を上り、広場で3周後、拝殿へ。宮司が御幣を取り外し安置して神事が終了する。



山車まつりのまちの様子

夕方まで殆ど雨が降らなかったので多くの人出があった。東町布袋車は山車倉から出され、からくり演技に写真のような人だかり。西町唐子車も山車倉で展示されていた。外には天狗が道行く人を撫で厄落としをしていた。



昼時に取材したため、飲食できる所は大賑わい。竹田嘉兵衛商店では一部格子を外し食事コーナーが設置されていた。屋敷全体が生け花展示場のようにになっていた。

祭礼本部の中町年行司では授与品を置くとともに、天狗親子は近隣のお宅で展示。他に、中町信号近くに有馬ツカサさんのコーナーが置かれ彼女の作品が読めるようになっていた。因みに彼女の名前に有松が隠されていることお気づきかな。



東町の"駄菓子きょうか"も子供でいっぱい。午後4時のこども宿でのお菓子配りでも親子連れがたくさん見えていた。



町並みツアー

あないびと20名がご案内。100名以上の方が無料町並みツアーに参加された。山車の運行がなかったため、日本遺産のまち有松をゆったりと歩いて堪能していただけたようだ。岡家住宅にも次々と来館者があり、案内にうれしい悲鳴を上げていた。



にじもっち登場

拝殿での神事、総代長・副総代長・梵天係や各町内の山車長はじめ4人に混じって有馬ツカサさんと"にじもっち"(写真右)が参列している。亀垣宮司から2人の紹介があった。"にじもっち"は有松天満社のマスコットキャラクター。被り物の制作は鶴田康光さん。この日に間に合わせてくださった。デザインは同じく総代の菅原美佳さん。そして名付け親は有馬ツカサさんです。虹橋に因んだ命名とか。



愛知高校生 山車まつり撮影

先日の稽古日訪問に続き、5人の皆さんが牧村俊宏先生の引率で撮影に来られた。「山車に興味をもち有松で学びたい」と。5分弱の動画にまとめ、学外のコンテストに出品する予定とのこと。とても熱心にまつり関係者の神事(移動や総参り)を撮影していた。山車の運行中止が残念であった。



CCNetで「秋季大祭に向けて」放映(9月29日～10月5日)

正にタイトル通りの番組が放送されました。祭礼に先立つ10日間はお囃子の稽古日です。初日に各町を廻って練習風景を取材して下さいました。主に囃子方と呼ばれるお囃子を演奏する方たち「子どもから70代のシニア世代まで有松の祭り好きが所属。50年以上も活動している人もいます。演奏だけでなく音色を操り、楯方に動きを知らせる役割もある」とのこと。東町の上林凌輔さんはインタビューに応じて「声をかけられて、昨年9月からの参加です。家では週1回の練習ですが、今は毎日1時間練習です。練習後に、仲間と親睦を深めるのも楽しい」と。しっかりした口調で話して下さいました。



中町 ↑
西町 →



豊田信行切り絵展 (10月2日～11月30日) 於:有松郵便局

有松まちづくりの会の会員で切り絵作家豊田信行さんの作品展が開かれています。秋季大祭にあわせた猩々緋の衣装も鮮やかな子犬さんの作品や祇園寺など15点ほどが郵便局のフロアに展示され、繊細な細工を間近に見ることができます。いつもの見慣れた風景も切り絵作品として見ると有松の美しさに改めて気づかされます。

「気軽に見にいらしてください」と立川弘樹有松局長談。



連載 有松にお店を構えて ⑫ 花屋 Luore

有松の南の入口バス駐車場近くに位置しています。お店の前にはたくさんの植物が置かれ、まるで観光客を歓迎しているようです。

▶ どうして有松にお店を構えることにしたのですか？

もともと店舗を探していました。ある日、お友達の家へ向かう途中に道を間違え知らないところに・・・目の前に現れた光景に大変心を奪われました。有松の古い町並みに引き込まれるかのように魅了されました。「空き」という看板に運命的な出会いを感じ、有松にお店を構えることにしました。

▶ これまでのご苦労や喜びは？

お店を始めてから感じる一番の喜びは、お花を通して広がる人との繋がり。皆さんが「ありがとう」と言ってくださる瞬間や、季節のお花と一緒に選りながら交わす何気ない会話に毎日癒されています。

▶ これからのこと、こんな町になって欲しいという願いは？

昔ながらの町並みの魅力を大切にしながら新しいものを取り入れ、訪れる人をわくわくさせるようになってほしいです。懐かしさと新しさが手を取り合って、一緒に未来へ歩むような町になればうれしいです。



営業時間 9:00～17:30

定休日 不定休



11月16日(日)

14:00～15:30

《会場》木戸銭500円

有松しほり久田 本店

052-621-1067



催事・行事予定

11月1日(土) あいちのたてもの博覧会 建物公開日

中濱家住宅・棚橋家住宅・岡家住宅・山中歯科医院・春江院・白雲閣

11月15日(土)・16日(日) 10:00 有松コミセンまつり 有松コミセン

11月16日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会

11月17日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン

11月24日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。



● 有松天満社 七五三 ●

日時 令和7年11月25日(火)

13時より15時

初穂料 お一人様 5,000円

授与品 お守り・千歳飴 他

お申込締切日 11月24日(月)

お申込 QRコード 052-621-8410

atenmansha@gmail.com

《編集後記》

山車の運行中止はとても残念でした。ただ雨は時折りぱらつく程度で、多くの方々が有松を訪れてくださった。祭りは有松の文化そのもの。人を惹きつけるようです。